

学習指導案 1 / 9

(1) 指導目標

「星の世界」の各声部の歌声や全体の響きを聴きながら、自分の声を友達の声と調和させて歌う学習に見通しをもち、主体的に取り組むことができるようにする。

(2) 展開

過程	学習活動	教師の指導 (○)・支援 (●)・発問 (★)	評価規準と評価方法
導 入	0 音楽遊びをする。	○リズム模倣をして、楽しく学習が始められるようにする。	
	1 めあてをつかむ。	○修学旅行で見た星空を想起させ、「星の世界」を合唱することへの意欲を高めさせる。	
展 開	「星の世界」の曲の感じをつかみ、主な旋律を歌おう。		
	2 曲の感じをつかみ、どのように歌いたいか見通しをもつ。	○歌詞を音読して聴かせ、写真と照らし合わせながら歌詞の意味を理解させる。	
	(1) 斉唱と三部合唱の「星の世界」を比較聴取する。	○斉唱と三部合唱を比較聴取させ、それぞれのよさや美しさについて考えさせるようにする。	
		★今から2つの「星の世界」を聴きます。それぞれ、どのような星の世界を想像しますか。なぜ、そのように感じたと思いますか。	
開		○想像した「星の世界」を発表させ、それぞれの響きの美しさを全体で共有させる。	
	(2) 聴き取り、感じ取ったことを「音楽を形づくっている要素」と関連付けながら、曲のよさや美しさをつかむ。	○楽譜を見せながら本題材で使用する「星の世界」を聴かせ、斉唱と三部合唱のどちらの要素もあることに気付かせるようにする。 ○斉唱と三部合唱の部分があることに気付かせることで、「星の世界」の音楽の構造をつかむことができるようにする。 ○「星の世界」の音楽のよさや美しさについて考えたことをワークシートに記入させる。	
		★「星の世界」のよさや美しさについて考えてみましょう。	
		○「星の世界」には、斉唱と三部合唱のどちらの部分もあることを確認し、どちらのよさよさも生かして合唱できることを伝える。 ○3回の聴取で「星の世界」の大体の旋律を覚えた児童を紹介し学習意欲を高めさせる。	

展	<p>(3) 曲のよさや美しさに即した歌い方について自分はどのように歌いたい見通しをもつ。</p>	<p>○既習の「いつでもあの海は」(歌唱)の学習を振り返らせ、どのように歌いたいかについて見通しをもつことができるようにする。</p> <p style="text-align: center;">「いつでもあの海は」 ここをクリック</p> <p>○「星の世界」の楽譜を旋律が1つになる部分と3つの旋律が重なる部分に分けさせ、それぞれの部分の旋律の重なり方を確認する。</p> <p>○それぞれの部分をどのように歌いたいか各自で考えたことをワークシートに記入させる。</p>	<p>「星の世界」の各声部の歌声や全体の響きを聴きながら、自分の声を友達の声と調和させて歌う学習に見通しをもち、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【関① ワークシート・行動観察】</p>
	<p>3 音の動きに気を付けながら、主な旋律を歌う。</p> <p>(1) 旋律を確認する。</p> <p>(2) 歌詞を音読する。</p> <p>(3) 主な旋律を歌う。</p>	<p style="text-align: center;">★曲のよさや美しさが伝わるように、どのように歌いたいですか。</p> <p>●どのように歌いたい見通しをもつことができない児童には、友達の発表内容や板書内容を参考にさせる。</p> <p>○どのように歌いたいか考えたことを発表させ、共有できるようにする。</p> <p>○見通しを基に、主な旋律の歌い方を工夫しながら歌うように助言する。</p> <p>○1, 2, 4フレーズ目は、反復になっていることを伝え、主な旋律を覚えやすくする。</p> <p>○歌詞の意味が分かりにくい言葉は、説明を加えて理解させるようにする。</p> <p>○CDに合わせて歌わせることで、旋律が1つになる部分と3つの旋律が重なる部分を意識して歌うことができるようにする。</p> <p>○高音から始まる出だしの発声や呼吸に気を付けて歌うと、更に豊かな響きになることを助言する。</p> <p>●音程やリズムを正しくつかむことができない児童に対しては、鍵盤ハーモニカで演奏して聴かせながら歌うことができるようにする。</p>	
開	<p>4 次時の学習を知る。</p>	<p>○本時のめあてを振り返らせ、次時への意欲を高める。</p>	
／ ま と め			

〈評価規準と評価方法〉

「星の世界」の各声部の歌声や全体の響きを聴きながら、自分の声を友達の声と調和させて歌う学習に見通しをもち、主体的に取り組もうとしている。【関① ワークシート・行動観察】		
十分満足 (A) と判定する目安	おおむね満足 (B) と判定する目安	<ul style="list-style-type: none"> ●どのように歌いたいか見通しをもつことができない児童に対しては、友達の発表内容や板書内容を参考にさせる。 ●音程やリズムを正しくつかむことができない児童に対しては、鍵盤ハーモニカで演奏して聴かせながら歌うことができるようにする。
曲のよさや美しさをつかみ、「星の世界」をどのように歌っていくのかについての見通しをワークシートに書き、自己評価で「主な旋律をおぼえることができた」と自己評価している。	曲のよさや美しさをつかみ、自分はどのように歌っていきたいかの見通しをワークシートに書き、進んで合唱している。	